

登録コード	E7202200	開講年度	2026				
授業科目	安全教育演習					担当教員	島崎 晋亮 他
英文授業名	Safety Education Practice					副担当	橋本 政晴・瀧 直也
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	
講義室	教育第1体育館 教育M301講義室	授業形態		演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	安全教育に関わる実践的な知識を理解し, その知識を用いて野外活動や運動・スポーツの場面で応用することが出来るようになる.	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	①野外救急法に関わる知識や技能を実践的に学ぶことを通じて, その現状や問題点などについて理解する。②テーピングの実践的な知識や方法を理解する。③野外活動における安全教育の知識を理解する。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	①野外救急法に関する実践的な知識や手法を取得する。 ②テーピングの実践的な知識や方法を取得する。 ③野外活動における安全教育の知識を習得する。						
(5)授業計画	第01回：ガイダンス／スポーツ活動における安全教育①ストレッチ&マッサージ 第02回：スポーツ活動における安全教育②テーピングベーシック 第03回：野外救急法(01)一般原則・傷病者評価システム 第04回：野外救急法(02)呼吸器系・循環器系・神経系 第05回：野外救急法(03)筋骨格系・体温調節・野外での疾病 第06回：野外救急法(04)傷病者評価システムの実践 第07回：野外救急法(05)一次救命措置 第08回：野外救急法(06)傷病者の保護・脊椎損傷者の体位変換と移動 第09回：野外救急法(07)重要器官系・アレルギー 第10回：野外救急法(08)溺水と落雷 第11回：野外救急法(09)筋骨格系・創傷 第12回：野外救急法(10)体温調節・まとめ 第13回：野外活動における安全とリスク・マネジメント 第14回：野外活動における安全教育プログラム						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次のとおりである。 ・安全教育に関わる基本的知識の取得を導くための授業内容の理解を測る毎回の実技テスト＝60％ ・安全教育に関わる基本的な知識を習得したかどうかを測る3回の中間テスト＝40％ ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの課題がクリアできれば「水準にある」、応用問題がクリアできれば「やや上にある」、やや難しい応用問題がクリアできれば「かなり上にある」、かなり難しい応用問題がクリアできれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	授業の最後に、次回の授業の内容を例示し、教科書も含めて予習しておくべき個所を指定する。 授業の冒頭で、前回授業の振り返りを行い、理解をより深め、更なる学習のための内容を例示する。						
(9)履修上の注意	野外救急法については、別途費用を納入することによって、「WFAベーシックレベル」の資格が取得できる。この資格を習得する場合、原則として欠席は認められない。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	瀧直也／教育学部北西校舎202／taki@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	授業時に適宜紹介する						
【参考文献】	授業時に適宜紹介する。						